学校番号	１０１

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	（学）時事日本語Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

全般的な日本語能力の向上　３年間の総まとめとして、自分自身のことに向き合って
過去を振り返り、自分史を作成するとともに、今後の自分の未来に希望をもって進める力をつける。

2　学習の到達目標

・今まで学んだ語彙を総合的に復習し使えるよう鍛える。
・自分のことを振り返り、自分史を作成する。
・高校卒業後に自分の力で道を切り開けるよう自己肯定感を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	今まで学習した、文法・語彙が理解でき運用できている。	自分自身を理解しようと努め、発表という形にできている。自分自身の過去と、存在を受け止め、自己肯定感を高め堂々と発表できる。	日本語の運用力を高めるために自主的に学習を進められている。自分自身を理解しようと努め積極的に自分史の作成に取り組んでいる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本語総復習	日本語の語彙の総復習を行い、運用できる力をつける	a:学習した文法・語彙を理解し、使うことができる b:内容から考察ができて、自分の意見を伝えられる。 c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している。	ワーク 小テスト 定期考査	観察 課題	観察 態度

	自己理解	自分自身のことを多面的に理解し表現する力をつける	a:出てきた語彙を理解できる。 b:自分を振替り、自分の意見をまとめた上で伝えられる。 c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している。	ワーク	観察 課題	観察 態度
2	日本語総復習	日本語の語彙の総復習を行い、運用できる力をつける	a:学習した文法・語彙を理解し、使うことができる b: 自分自身を振り返り、自分の意見を伝えられる。 c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している。	ワーク 小テスト 定期考査	観察 課題	観察 態度
	自己理解	自分自身のことを多面的に理解し表現する力をつける	a:出てきた語彙を理解できる。 b:自分自身を振り返り、自分の意見をまとめた上で伝えられる。 c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している。	ワーク	観察 課題	観察 態度
3	自己理解	自分自身の過去を振り返り、自分史を作成するとともに、今後の自分の未来に希望をもって進める力をつける	a:1学期2学期で行ってきた自己理解にでてきた語彙を理解できまとめられる。 b:自分史をパワーポイントの形でまとめ、全体の前で発表できる。 c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している。	ワーク	観察 課題	観察 態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度